

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1~2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度~2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA~Dの4段階とし自ら評価した。A~D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育目標、学位授与方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B	B			
2. 入学者に対して学生の手引き等を通じて、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する。	→「学生の手引き」説明会への参加率	B	A			
3. ウェブサイトを通じて、教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を、適切に伝達する	→ウェブサイトへのアクセス数	C	B			
4. 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針についての、内部評価を実施する	→内部評価のための会合の開催回数	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (学位授与方針)「学生の手引き」において、学位授与方針、基準を詳細かつ明瞭に記載している。2度の研究計画書、外国語 学力認定試験、専門科目学力認定試験、論文公刊、学会発表、博士論文公開審査会を継起的に合格することを条件としてい る。 上記の授与方針、基準、ステップを「学生の手引き」に記載しているほか、その都度、web上で学生に知らせ、また個々の担当 教員が個別に学生に伝えている。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない (説明)「学生の手引き」のほか、web上で明瞭に記載している。また、個々の担当教員が個別に学生と連絡を取りながら研究 指導を行っている。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に 公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない (説明)学位授与にいたるプロセスはやや複雑であるので、「学生の手引き」に詳細に記載しているほか、個々の教員、事務 室において学生に個別に伝えている。社会に対しては現在のところ、公表していないが、問い合わせがあれば、公表の用意は ある。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない 発足してまだ3年であるので、その適切性については、研究科委員会で見直しの議論を行うことで広く教員の意見を吸い上げ ている。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
必修・選択ごとの開設授業科目数
系列別卒業必要単位数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	2011年3月、2人の課程博士号取得者を出すことができたので、効果は上がったと考えている。
小項目6.1.2	学生は授与方針、必要なステップをしっかりと理解して、研究計画を建てているように見受けられるので、効果は上がっていると 考えている。
小項目6.1.3	教員、学生は熟知している。
小項目6.1.4	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価】(2)改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1		
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3	英語表記の拡充が必要である。	
小項目6.1.4	学位を取得するまでには、かなり多く基準をクリアしなければならず、また基準はシーケンシャルにクリアしていかなければならないことになっているので、執行上やや煩雑である。また各学生に対応した制度となっているため、教員の負担も小さくない。この点、改善を検討する必要がある。	
その他		



《次年度に向けた方策(2)》改善方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	本課程設置後3年が経過し、初めての学位取得者も出たので、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、再度、研究科委員会で検討する。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他(自由記述)	本課程設置後3年が経過し、初めての学位取得者も出たので、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、再度、研究科委員会で検討する。また、専門職大学院に所属する教員のダブルカウント問題についても今年度は結論が出そうなので、それも考慮しながら見直しを図らねばならない。

III. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○おおむね順調に進展していると評価されます。

【学内委員】

○現状の説明のほか、効果の上がっている事項、改善すべき事項にも記述が多いので、研究科のおかれている状況がわかりやすい。

○目標に対し順調に進展しています。

○小項目6.1.4について、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性に関する検討が早急に行われることが望まれます。

○初めて学位取得者が出て成果があがっています。今後改善を繰り返しながらより良い課程となることを期待しています。

○大学基準協会は、小項目6.1.1については「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件(卒業要件・修了要件)等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」、小項目6.1.2については「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考えをまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」を基盤評価としています。また、教育目標に基づいた授与方針としていますから、修了要件だけでは十分はないと考えられます。

○大学基準協会は、小項目6.1.2については「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」を基盤評価としています。学生の手引きでは明確ではありません。

○学位授与方針や教育課程の編成・実施方針は、学生だけでなく広く学外にも公表する必要があります。問い合わせがあっても応えるのでは不十分です。情報の公開が求められていますのでご検討ください。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件(卒業要件・修了要件)等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

IV. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★ 学位授与方針は手引きによって明らかにしているが、ご指摘の通り、教育内容、教育方法についての記述が十分でないと思われる。
- ★ また、学位取得までにクリアしなければならない試験等のプロセスが煩雑であり、その改善とともにしっかりした文書化を進める。
- ★ さらに、これらを学外へ公表し、より透明性を高めていく。